

## 学校施設・設備の整備事業

アナ： 「市長が語る 2017 三島」第 16 回の今日は、「学校施設・設備の整備事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： さっそくですが、豊岡市長、今日のテーマである「学校施設・設備の整備事業」の主な事業について教えていただけますか。

市長： 学校施設・設備の整備につきましては、市の計画の最上位に位置する「三島市総合計画」の中で、学校教育における重要な事業と位置づけられておまして、学校生活における生徒の安全と安心を最優先に、計画的、かつ、積極的に対応しています。

市内に 21 校ある小中学校の全校舎で耐震補強が完了しておりますが、そのうち、特に老朽度が高かった北中学校南校舎について平成 28 年度から改築をはじめています。工事は順調に進んでおり、本年度末の平成 30 年 3 月に完成しますので、4 月からは新校舎で勉強に励んでいただける予定となっております。

アナ： 北中学校では、来年度から新しい校舎での生活が始まるのですね。新校舎の完成がとても待ち遠しいですね。

市長： そうですね。工事期間中は、生徒、保護者、近隣の皆様には大変ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

それから、本年度に実施する施設整備といたしましては、山田中学校の多目的ホールの天井落下防止のための改修工事と、東小学校、北上小学校、北上中学校の 3 校のトイレの改修も行う予定となっております。

アナ： いろいろな改修が予定されているのですね。それでは、まず、山田中学校の多目的ホールの改修について、詳しく教えていただけますか。

市長： 東日本大震災の時に、体育館などの広い天井から部材が落下する被害が多く発生したことを受けまして、地震の際の生徒の安全性をさらに確保するために実施するものです。小中学校の体育館と柔剣道場については、平成 27 年度までに全て改修が完了していますので、本年度は、それ以外で天井面積が広い、山田中学校の多目的ホールを改修することとしました。改修工事は、主に生徒のいない夏休み中に行う予定としております。

アナ： 東日本大震災の教訓から、生徒の安全性がさらに確保されるわけですね。次に、トイレの改修について教えてください。

市長： 小中学校のトイレは、校舎の建設以来一度も改修されていないものが多く、また、当時は和式トイレが主流であったために、衛生面や洋式トイレが一般的になったことを考慮して、平成 26 年度から計画的に順次、トイレの洋式化と床のドラ

イ式化を進めております。今年度はその改修を、東小学校、北上小学校、北上中学校の3校で実施していくこととしております。

アナ： トイレの洋式化と床のドライ式化をすることで、具体的にはどのような効果があるのでしょうか。

市長： トイレを洋式化することで、衛生面はもちろん、普段、自宅などで洋式しか使ったことのない児童が、学校で安心してトイレを利用できるようになることから、生徒の健康面での配慮ができます。また、床のドライ式化は、今までは水を流して清掃していたため濡れていることの多かったトイレの床と比べて、雑菌の繁殖を抑えることができるなど、衛生面で効果があります。

アナ： なるほど、よくわかりました。そのほか、学校設備等で何かございますか。

市長： 小学校の少人数教室や特別教室用に、電子黒板を追加で整備してまいります。

アナ： 三島市では、平成27年度、平成28年度の2か年で、県内で初めて、全小・中学校の特別支援学級を含む全ての教室に電子黒板を整備したと伺っています。整備した後の、子供達や先生方の反応はいかがですか。

市長： 電子黒板は、子供たちの意識を前に集中させ、視覚・聴覚に直接働きかけることができますので、子供達からは、授業が分かりやすくなった、楽しくなったという声が多く寄せられています。また、先生方からも、電子黒板を使った授業は効果的であり、教材準備等教員の負担の軽減につながっているという声が届いております。小学校の少人数教室や特別教室に電子黒板を追加整備することによって、更に魅力的な授業が増え、子どもたちの学力向上につながってくれることを期待しております。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。